

(様式3)

事業所名 もみの木の家

目標達成計画

作成日 平成 22 年 12 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	スプリンクラーの未設置等、災害時の対策の余地を残している。	また災害時の非常食を法人に頼るのみでなく、グループホーム内にも備蓄する。 スプリンクラーを設置し、火災時の対策を行なう。	①非常食を備蓄する(最低でも1食分) ②法改正後には速やかにスプリンクラーを設置するよう法人に働きかけていく。	10 ヶ月
2	4	行政担当者との協力関係が不足している。	運営推進会議への行政担当者の参加呼びかけ。	運営推進会議の案内を行政にも送付し、参加依頼を行なっていく。	12 ヶ月
3	2	事業所の機能の地域還元が不足している。	地域包括支援センターと連携しながら、認知症サポーター養成講座の開催を目指す。	①キャラバンメイトの養成講座を職員が受講する。 ②地域包括支援センターと連携し、認知症サポーター講座の開催を目指す。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。